

渡辺浩平先生退職記念

新著を語る



聖地旅順と 帝国の半世紀

近代日本の磁場をたどる

渡辺浩平

安重根、乃木希典、水野廣徳、肅親王、
川島芳子、石原莞爾——。

旅順から近代日本はいかに見えたか？
旅順をめぐる、もうひとつの物語

白水社

日程：4月5日(金)16時半-18時

参加無料・予約不要

場所：北海道大学国際広報メディア学院棟407室

北海道大学名誉教授 渡辺浩平 ◆「新著を語る—旅順・第七師団・北海道帝国大学—」
白水社編集部部长代理 竹園公一朗 ◆「コロナ後の出版」

渡辺浩平(わたなべ・こうへい)

1958年生まれ。立命館大学文学部卒業、東京都立大学大学院人文科学研究科中国文学専攻修士課程修了後、博報堂入社。北京と上海に駐在。愛知大学現代中国学部講師、北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院教授、3月をもって退職。主な著書に『吉田満 戦艦大和学徒兵の五十六年』、『第七師団と戦争の時代』(以上、白水社)他。

白水社編集部
部長代理

竹園公一朗氏
の講演あり

主催：北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院附属東アジアメディア研究センター(ceams5143@gmail.com)